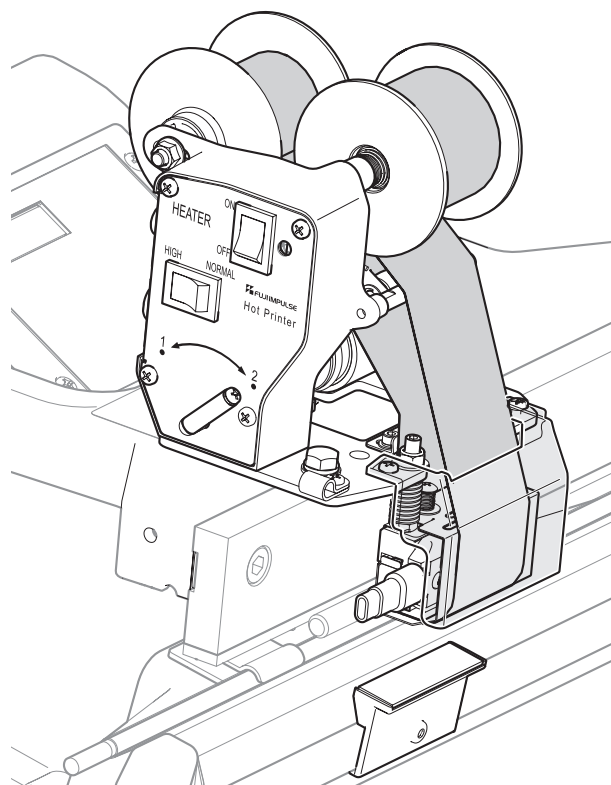


2024年9月発行  
第1版 1.01J

シーラー取付タイプホットプリンター

# FEP-N3 シリーズ 取扱説明書

商品コード  
05561A  
FEP-N3  
05571A  
FEP-OS-N3



 富士インパルス株式会社

<https://www.fujiimpulse.co.jp>



## はじめに

このたびは、富士インパルス電子プリンター（印字器）FEP-N3 シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、内容を理解された上で製品を正しくお使いいただけますようお願いいたします。十分に理解されるまで、作業は行わないでください。

この取扱説明書はいつでもご使用いただけるようにお手元に置いて大切に保管してください。

FEP-N3 シリーズはヒーターによって温められた活字をプリントテープの上から押しつけて袋（フィルム）にプリントテープのインキを熱転写させて印字する装置です。

弊社シーラー OPL、FA、Fi シリーズなどに取り付けてシールと同時に日付などを印字できます。

FEP-N3 シリーズの設計内容に関する研究改良の結果、この取扱説明書の内容が、お買い上げ製品と異なる場合がございます。お買い上げの製品、または、この取扱説明書の内容につきまして不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。なお、お問い合わせの際は製品に貼付の機番ラベルのシリアルNo.をお伝えください。






富士インパルス販売株式会社

本 店 千葉県流山市南流山 2-27-6 TEL 04-7178-6402

大阪支店 大阪府豊中市庄内栄町 4-23-18 TEL 06-6335-1234

## 本書の表示について

本書では人体や製品に損傷を与える危険性のあることや製品を正しく動作させたり、便利にお使いいただけることを述べた説明文に対して以下のマークで表示しています。

-  **注意** ・ ・ もし遵守しなかった場合、軽傷や物的被害が生じる可能性のあるもの。
-  **警告** ・ ・ もし遵守しなかった場合、死亡や重傷となる可能性のあるもの。
-  **危険** ・ ・ もし遵守しなかった場合、ほぼ確実に死亡や重傷となる可能性のあるもの。
-  **注！** ・ ・ 製品を正しく動作させるための注意や制限事項を表しています。誤った操作をしないため、必ずお読みください。
-  **MEMO** ・ ・ 製品を使用するとき知っておくと便利なことや参考になることを表しています。お読みいただくことをお勧めします。

# 目次

<b>1</b>	<b>梱包内容</b> .....	<b>5</b>
1-1	FEP-N3、FEP-OS-N3 共通 .....	5
1-2	FEP-N3 (内側プリンター) 専用の附属部品 .....	6
1-3	FEP-OS-N3 (外側プリンター) 専用の附属部品 .....	6
<b>2</b>	<b>袋 (フィルム) に印字される位置</b> .....	<b>7</b>
<b>3</b>	<b>警告・注意ラベルの貼り付け位置と内容説明</b> .....	<b>8</b>
<b>4</b>	<b>プリントテープについて</b> .....	<b>9</b>
<b>5</b>	<b>使用上の注意</b> .....	<b>10</b>
<b>6</b>	<b>各部の名称とはたらき</b> .....	<b>13</b>
<b>7</b>	<b>シーラーへの取付手順</b> .....	<b>14</b>
7-1	プリンター位置決めラベルの貼り付け .....	15
7-2	FEP-N3 の取付手順 .....	15
7-3	FEP-OS-N3 の取付手順 .....	17
<b>8</b>	<b>正しい使い方</b> .....	<b>19</b>
8-1	プリントテープを取り付ける .....	19
8-2	活字をセットする .....	19
8-3	プリントテープの送り量を設定する .....	19
8-4	シーラー本体の電源スイッチを ON .....	19
8-5	プリンターの電源スイッチを ON .....	20
8-6	印字温度を切り替える .....	20
8-7	適温になるまで待つ .....	20
8-8	シーラー本体でシール作業を行う .....	20
8-9	印字状態の確認 .....	20
8-10	電源スイッチを OFF .....	21
8-11	作業終了後の点検 .....	21
<b>9</b>	<b>消耗部品の交換方法</b> .....	<b>22</b>
9-1	FEP-N3 のプリントテープ交換 .....	22
9-2	FEP-OS-N3 のプリントテープ交換 .....	26
9-3	活字の交換 .....	30
9-4	FEP-N3 の活字受けゴムの交換 .....	31
9-5	FEP-OS-N3 の活字受けゴムの交換 .....	32
9-6	ホルダー内活字受けゴムの交換 .....	33
<b>10</b>	<b>各部の調整方法</b> .....	<b>34</b>
10-1	ヒーター部ユニット (活字) の高さ調整 .....	34
10-2	印字列数の切替 .....	35
10-3	プリントテープの送り量調整 .....	35
10-4	プリントテープの片寄り調整 .....	36
<b>11</b>	<b>主な故障状況と対処方法</b> .....	<b>37</b>
<b>12</b>	<b>仕様</b> .....	<b>39</b>
<b>13</b>	<b>配線図</b> .....	<b>39</b>
	分解図・部品表 .....	41

# 1 梱包内容

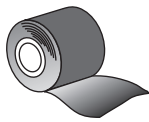
開梱していただきましたら、次の点をお確かめください

- ・型式は注文通りのものですか？（型式は製品に貼付の機番ラベルでご確認いただけます。）
- ・輸送中の破損はありませんか？
- ・下記の梱包内容は一式揃っていますか？

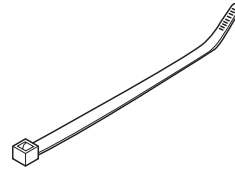
## 1-1 FEP-N3、FEP-OS-N3 共通

### 1 製品本体・・・1 台

### 2 附属部品セット



プリントテープ(黒)  
HTD (PE/PP フィルム用)・・・1 巻  
HTM (NY/PP フィルム用)・・・1 巻  
HTD、HTM の説明は「4 プリントテープについて」  
(→P.9)に記載しています。



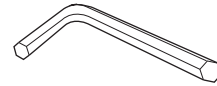
ビニールバンド  
1 本  
電源コードを圧着レバーへ  
固定する場合に使用します。



FEP 本体取付ボルト  
2 本



両口スパナ  
(8 mm × 10 mm)  
1 本

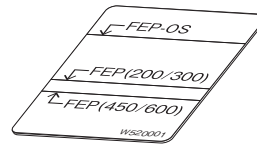


六角レンチ (2.5 mm)  
1 本

#### ■ 活字ケース内

- ・活字 1 個
- ・ピンセット 1 個
- ・活字受けゴム 1 個
- ・ホルダー内活字受けゴム 1 個
- ・ガラステープ 1 枚

活字の入り数は次のページの  
「附属活字の内訳」を参照してください。



プリンター位置決めラベル  
1 枚

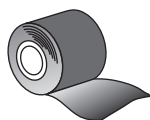
イラストは等比率で描いていませんのでご注意ください。

## 附属活字の内訳

種別	附属・活字収納ケース入り分	数量	本体取付分	数量	合計
2.4mm幅	0	1	0	2	3
	1	1	1	1	2
	2	5			5
	3	1	3	1	2
	4 5 6 7 8 9 各2	12			12
	□	6	□	2	8
3.6mm幅	□	1			1
4.8mm幅	□	1			1
7.2mm幅	.01. .02. .03. .04. .05. .06. .07. .08. .09. .10. .11. 各1	11			11
			.12.	1	
14.4mm幅			賞味期限	1	1
36mm幅			□	1	1
合計		39		9	48

□ はスペース文字

## 製品に装着している部品



プリントテープ (黒)  
HTD (PE/PP フィルム用)  
1 巻  
HTD の説明は「4 プリントテープについて」  
(→ P.9) に記載しています。



プリントテープ巻取り紙管  
1 巻

製品に取り付けている活字の入り数は上記  
「附属活字の内訳」の「本体取付分」欄を  
参照してください。

## 1-2 FEP-N3 (内側プリンター) 専用の附属部品

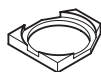


活字受け  
(活字受けゴム、ビス付)  
1 個



標準テーブル取り付け用スペーサー  
2 個

Fi・FiK-200/300 シリーズ、  
FA-450-5、OPL-450-5 など標準テーブル  
を取り付ける場合のみ使用します。  
取り付け方法は「7 シーラーへの取付手順」  
(→ P.14) >>> FEP-N3 を取り付け、シー  
ラー本体に標準テーブルを取り付ける場合  
を参照してください。



引き上げスプリングベース  
1 個

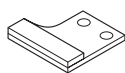
## 1-3 FEP-OS-N3 (外側プリンター) 専用の附属部品



活字受け固定用ビス  
各 2 個



引き上げスプリングベース  
1 個



活字受け  
(活字受けゴム付)  
1 個



活字受け台  
1 個

## 2 袋 (フィルム) に印字される位置

電子プリンター FEP-N3 (内側印字) および FEP-OS-N3 (外側印字) は印字対象物のおおむね下記表の位置に印字されます。

### FEP-N3

シーラーのシール長さ シーラーのシール幅	200/300 mm	450/600 mm
2 mm ヒーター仕様機への 取り付け	シール幅：2mm 10.5mm 	シール幅：2mm 13mm 
5 mm ヒーター仕様機への 取り付け	シール幅：5mm 9mm 	シール幅：5mm 11.5mm 
10 mm ヒーター仕様機への 取り付け	シール幅：10mm 6.5mm 	シール幅：10mm 9mm 

### FEP-OS-N3

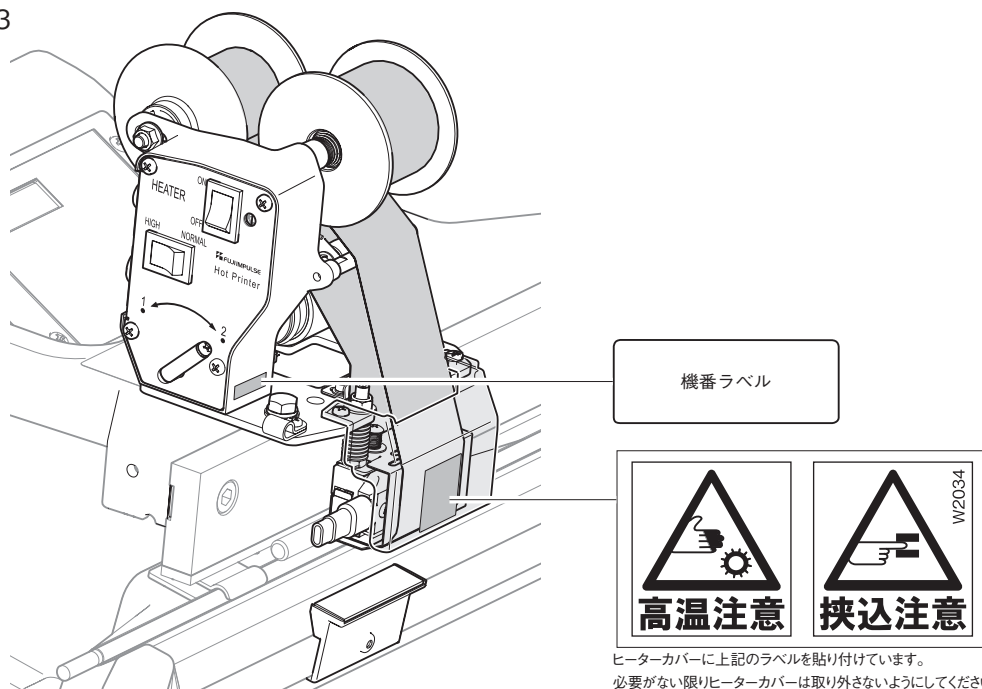
シーラーのシール長さ シーラーのシール幅	200/300 mm	450/600 mm
2 mm ヒーター仕様機への 取り付け	10.5mm シール幅：2mm 	13mm シール幅：2mm 
5 mm ヒーター仕様機への 取り付け	9mm シール幅：5mm 	11.5mm シール幅：5mm 
10 mm ヒーター仕様機への 取り付け	6.5mm シール幅：10mm 	9mm シール幅：10mm 

※ プリンターを基本位置へ付けた場合のおおよその数値です。

### 3 警告・注意ラベルの貼り付け位置と内容説明

人体や製品に損傷を与える危険性のある場所に警告・注意ラベルを貼り付けて表示しています。具体的な貼り付け位置は下記の通りですので、作業を始める前に確認してください。

FEP-N3



ヒーターカバーに上記のラベルを貼り付けています。  
必要がない限りヒーターカバーは取り外さないようにしてください。



警告ラベルがはがれたり、紛失されたりした場合は、該当のラベルをご購入の上、上記位置に必ず貼り付けていただきますようお願いいたします。



## 4 プリントテープについて

### プリントテープは袋（フィルム）の種類、用途別に使い分けをしてください

富士インパルス FEP-N3 シリーズ用プリントテープは、高品質の印字を行っていただけるよう、お客様が印字される袋（フィルム）の材質や用途に合わせて異なる種類のプリントテープをお使いいただくことを推奨し、純正のプリントテープをご用意いたしております。

### 純正プリントテープの種類

富士インパルス；純正のプリントテープは、以下のラインナップで提供いたしております。

商品コード	名称	対応フィルム材質・用途	1巻当テープ長さ	紙管ロゴ色※
53501	プリントテープ HTD	PE、PP 用	60 m 巻き	青
53496	プリントテープ HTM	NY、PP 用	60 m 巻き	黒 (ロゴ+型式 HTM を印刷しています)

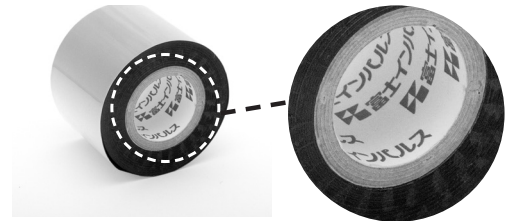
※プリントテープを見分けることができるよう、テープ中心の紙管に種類別に色分けした弊社ロゴを印刷しています。

FEP-N3 シリーズには

HTD タイプ：2巻（そのうち1巻は本体に装着）

HTM タイプ：1巻

を附属品として製品に同梱しています。



### その他種類のプリントテープについて

富士インパルス純正のプリントテープが推奨する以外の特殊な用途や環境でFEP-N3シリーズをお使いになられたり、特殊な袋（フィルム）をお使いになられる場合には、専用のプリントテープが別途必要となることがあります。その場合は、お手数をおかけしますがFEP-N3シリーズをお買い上げの販売店または弊社までお客様が使われる袋（フィルム）や使用環境についてお伝えいただき、適切なプリントテープを入手いただけますようお願いいたします。

富士インパルス販売株式会社

本 店 千葉県流山市南流山 2-27-6 TEL 04-7178-6402

大阪支店 大阪府豊中市庄内栄町 4-23-18 TEL 06-6335-1234

### 純正プリントテープのご注意

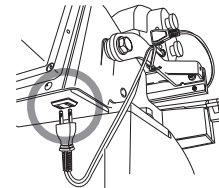
- 1 直射日光、高温多湿の場所を避け、室内で保管してください。
- 2 落としたり、強い力をかけるとテープが変形して印字に悪影響を及ぼす恐れがあります。プリントテープ交換の際など、取り扱いにご注意ください。
- 3 富士インパルス純正以外のプリントテープを使って印字されると製品の性能、印字品質を低下させる恐れがありますので、純正プリントテープをお使いください。純正プリントテープをお使いにならなかった場合に発生した製品の不調・故障及び事故などに対して弊社は保証の責任を負いかねます。
- 4 印字される包装材料の厚みや表面処理の違い、その他条件に因り、印字の品質、結果が変化する場合がございます。事前に印字テストを行い良好な印字の品質、結果を確認された上で、ご使用いただきますようお願いいたします。

## 5 使用上の注意

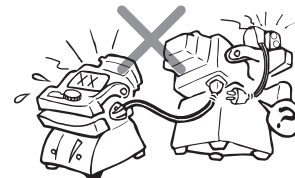
### ⚠ 警告 死亡や重傷となる可能性があります。

#### ⚠ 警告 電源はシーラー本体の専用コンセントからお取りください

FEP-N3、FEP-OS-N3 は弊社インパルスシーラー (FA および Fi シリーズなど) のオプション製品です。FEP-N3、FEP-OS-N3 の電源プラグは OPL、FA、Fi シリーズなどのシーラー頭部裏蓋にある専用のコンセントに差し込んでご使用ください。また、専用コンセントに本機以外の機器を接続して動作させた場合、接続した機器の動作不良や故障の原因となりますので絶対にしないでください。



プリンター本体の電源コード



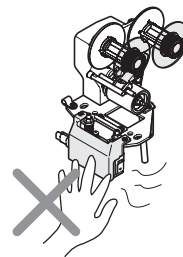
#### ⚠ 警告 水物には使用しないでください

FEP-N3 シリーズは防水対策を施しておりませんので、製品本体に水をかけたり、水物 (汁物) には絶対に使用しないでください。活字を腐食させたり感電や故障の原因となりたいへん危険です。特に塩分や湿気は活字を腐食させます。



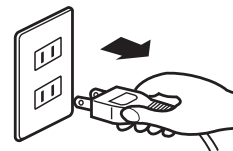
#### ⚠ 警告 ヒーター部は高温になり危険です

ヒーター部は高温になりますので火傷をする危険性があります。ヒーター部には必ずヒーターカバーを取り付けて作業を行ってください。ヒーターカバーは製品に標準装備しています。活字などの部品交換をする場合は電源を OFF にして十分にヒーター部が冷えてから行ってください。



#### ⚠ 警告 部品交換のときは電源プラグを抜いて行ってください

部品の交換は、日々のメンテナンスで必要となりますので、その交換方法をこの取扱説明書に掲載していますが、間違った方法で行うとたいへん危険です。作業の前には必ずプリンター、シーラーの電源を OFF にして、シーラー本体の電源プラグを手で持った状態でコンセントから抜き、「9 消耗部品の交換方法」(→ P.22) をよくお読みいただき、無理のないよう行ってください。



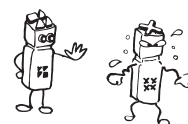
#### ⚠ 警告 改造はしないでください

FEP-N3 シリーズをお客様で改造をされたり、規定外の消耗部品を装着されると、故障などの原因になるばかりか、危険な事故につながる可能性がありますので絶対にしないでください。その場合に発生した製品の不調・故障および事故などに対して弊社は保証の責任を負いません。



#### ⚠ 警告 弊社指定の純正部品以外のご使用はしないでください

部品交換をされるときは、必ず弊社が販売している指定の純正部品をお使いください。



**⚠ 警告** このような場所では使用しないでください

製品が故障する危険性がありますので、製品を下記のような環境では使用しないでください。

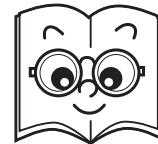
- 1 粉塵の充満している場所
- 2 常温ではない場所
- 3 湿度が高い場所

**⚠ 注意** 軽傷や物的被害が生じる可能性があります。**⚠ 注意** 活字交換の際は高温なヒーター部に注意してください

使用中および、電源スイッチを OFF にしてもしばらくはヒーター部は高温で火傷をする危険性があります。活字の交換をするときは、火傷をしないように注意して交換作業を行ってください。活字の差し替えは十分に活字ホルダーや活字が冷えてから行ってください。

**⚠ 注意** 取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください

「正しい使い方」に記載されている方法以外の使用法で作業した場合、弊社は発生した事故・故障などの保証の責任は負いません。

**⚠ 注意** 印字の仕上がり状態をよく確認してから量産作業をしてください

十分に印字テストを行ってから量産作業をしてください。印字される袋（フィルム）の種類によって最適な印字状態は異なりますので、袋（フィルム）を変えられたときは、その都度「10-1 ヒーター部ユニット（活字）の高さ調整」（→ P.34）を参照して、調整をしてください。各袋（フィルム）に適合した印字状態になるようお客様で確認・設定・管理を行ってください。

**快適にお使いいただくために****● 活字の保守について**

活字は常に清潔にしてお使いください。特に水分や、塩分を含んだ品物の包装・印字をする場合や湿った場所での使用は、活字が傷みやすいので使用後、歯ブラシなどで洗浄し、乾燥させてから保管してください。

**● 使用後は必ずきれいに掃除してください**

印字部にゴミ、ホコリが付いていますと、きれいに印字ができないばかりか、活字などの部品を傷めます。使用後は必ずきれいに手入れし、掃除を行ってください。

● 印字の写りが悪くなったら消耗品を交換してください

活字や活字受けゴムなどは使い続けるうちに消耗していきます。印字の写りが悪くなってきたら交換のサインですので、部品交換の方法をよくお読みいただき、危険のないように交換を行ってください。



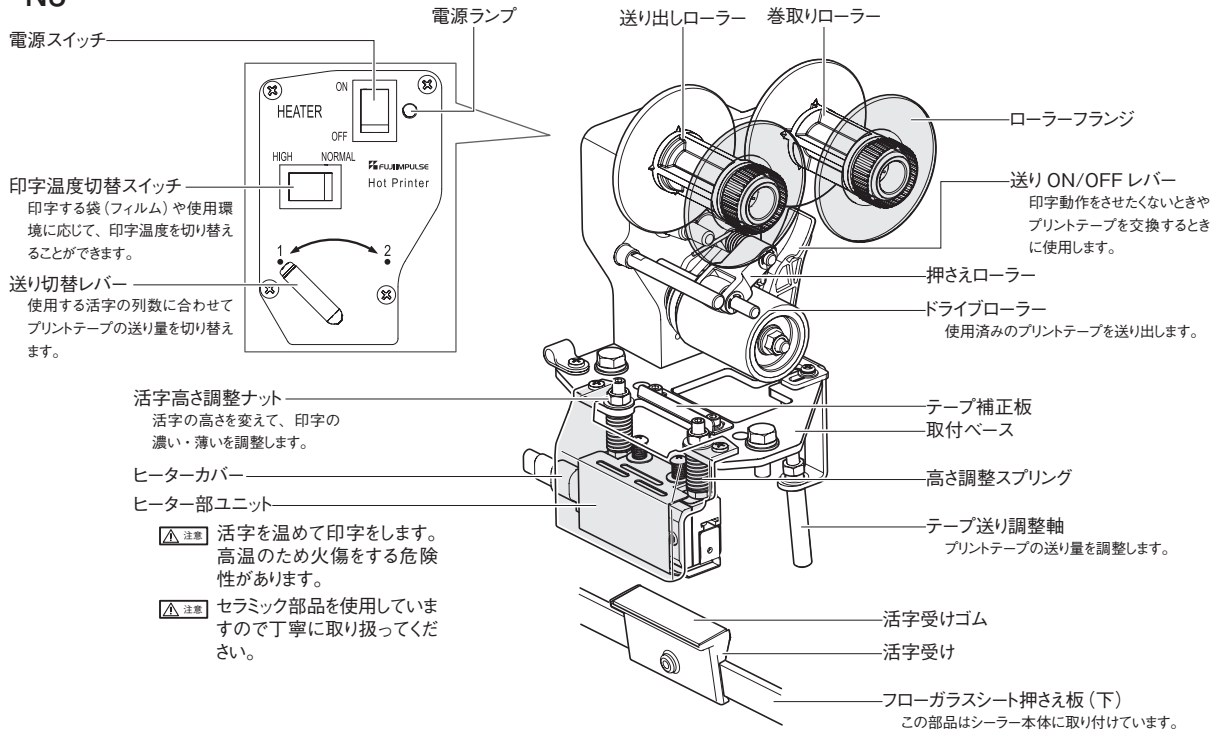
● ヒーター部分にはセラミック製品を使用しています

ヒーター部分にはセラミック製品を使用しています。落としたり、強い衝撃を与えると破損しますので丁寧に取り扱いをしてください。また、水滴などがつき、急激に冷えるとヒーターが破損します。

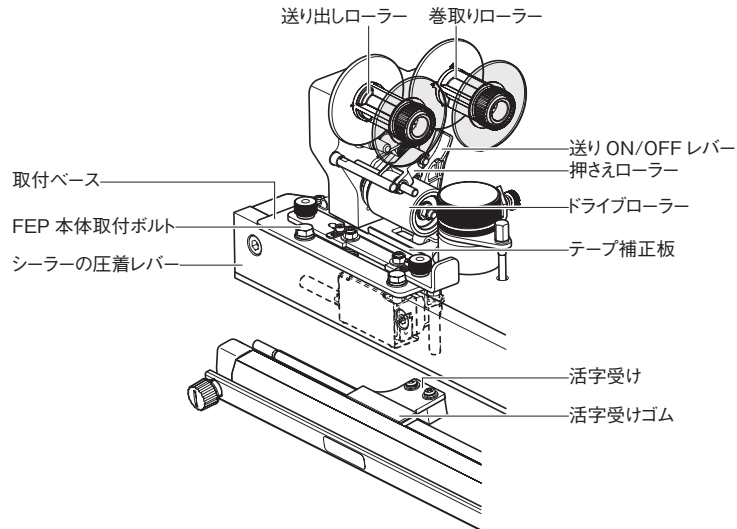


## 6 各部の名称とはたらき

### FEP-N3

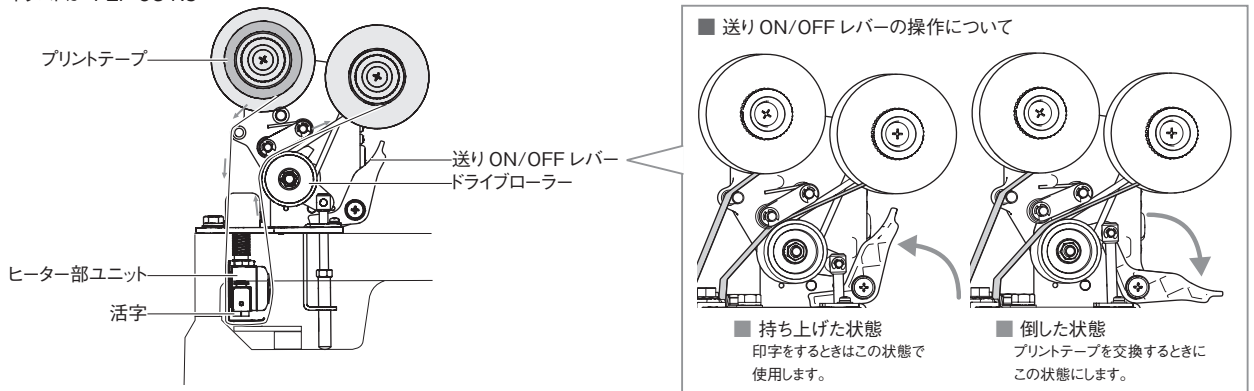


### FEP-OS-N3



### 本体ユニットの構造図

イラストは FEP-OS-N3



## 7 シーラーへの取付手順

プリンターをシーラーへ取り付ける方法は各製品ごとに異なりますので、お買い上げの製品に該当する手順を参照してください。

### MEMO

プリンターをシーラーへ取り付けるときは、圧着レバーを持ち上げた状態で作業をすることがあります。お手持ちのシーラーの取扱説明書の「部品交換のための準備」をお読みいただき、圧着レバーを持ち上げる方法を確認の上、作業をしてください。

### 注！

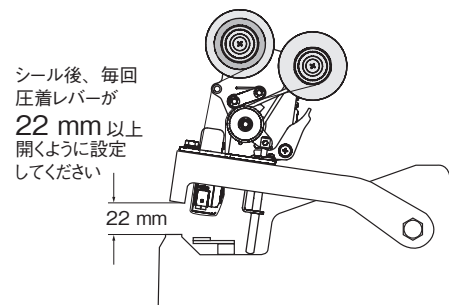
#### 足踏み式シーラー (Fi、FiK) シリーズに FEP-N3、FEP-OS-N3 を取り付けるときの注意

プリントテープの送りは圧着レバーの上下動と連動しています。

シール後、毎回圧着レバーが 22 mm 以上開くようにペダル高さを調整してください。

圧着レバーの開きが少ないとプリントテープが正しく送られません。

ペダル高さの調整方法はシーラーの取扱説明書を参照してください。



イラストは FEP-OS-N3 (外側プリンター) です。

### 注！

#### FEP-N3 (内側プリンター) を取り付け、 シーラー本体に標準テーブルを取り付ける場合

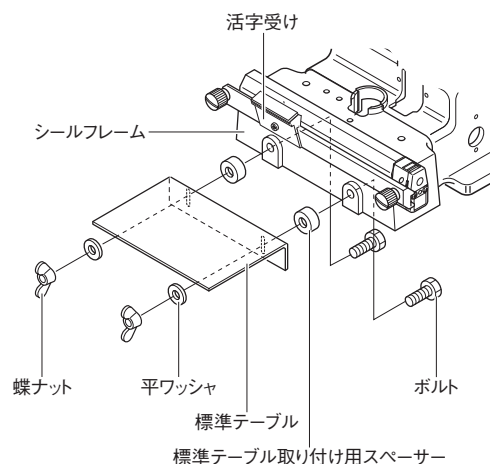
対象シーラー：Fi・FiK-200/300 シリーズ、FA-450-5、  
OPL-450-5 など

FEP-N3 (内側プリンター) を取り付け、シーラー付属品の標準テーブル、またはオプションで購入された標準テーブルを取り付ける場合は、FEP-N3 付属品の「標準テーブル取り付け用スペーサー」を右イラストのようにテーブルとシールフレームの間に挟み込むようにセットして、標準テーブルをシーラーに取り付けてください。

FEP-OS-N3 (外側プリンター) の場合は、「標準テーブル取り付け用スペーサー」は必要ありません。

### 注！

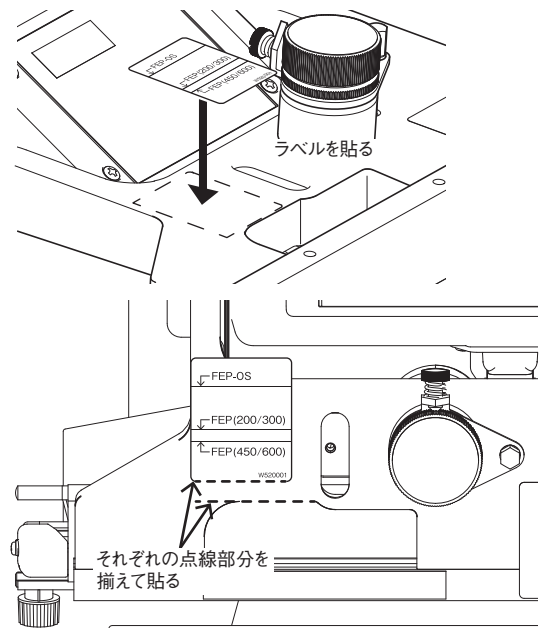
FEP-N3 (内側プリンター) を取り付ける場合、「標準テーブル取り付け用スペーサー」を装着しないと「活字受け」と「標準テーブル」が干渉して、標準テーブルを取り付けることができません。





## 7-1 プリンター位置決めラベルの貼り付け

- 1 プリンター位置決めラベルを台紙からはがします。
- 2 右イラストを参照し、プリンター位置決めラベルを貼り付けます。



## 7-2 FEP-N3 の取付手順

【必要物】 プラスドライバー  
両口スパナ (8 mm × 10 mm)

- 1 シーラーの圧着レバー上面に貼り付けている「プリンター取り付け位置を示す銀色のシール」をはがします。FEP 本体取付ボルト用の穴が見えるようになります。

- 2 圧着レバーを上げます。

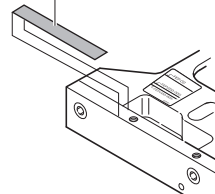
**MEMO** 圧着レバーを上げる方法は、プリンターを取り付けるシーラーの取扱説明書 >>> 「消耗部品の交換方法 >>> 部品交換のための準備」に記載しています。

- 3 シールフレーム中央に引き上げスプリングベースをはめ込みます。

**注！** スプリングベースは Fi シリーズには、取り付け不要です。

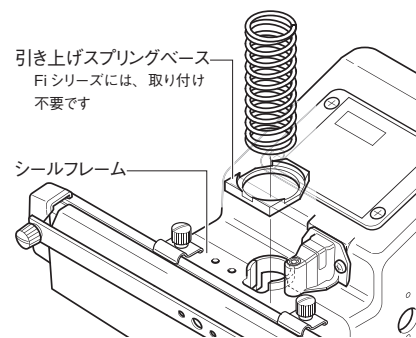
- 4 ヒーター部ユニットが圧着レバーの手前になるようにプリンターの取付ベースを圧着レバーに載せます。

プリンター取り付け位置を示す  
銀色のシール



引き上げスプリングベース  
Fi シリーズには、取り付け  
不要です

シールフレーム

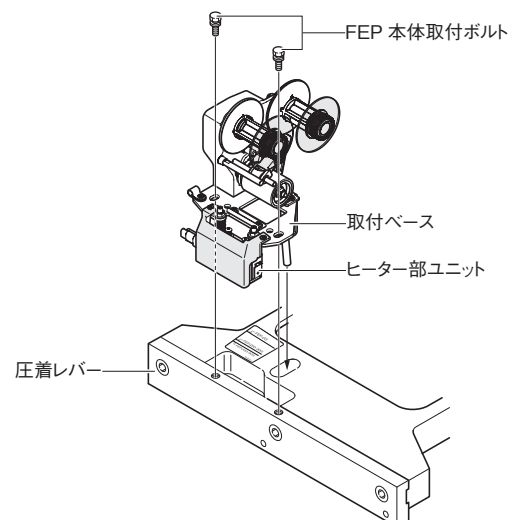


FEP 本体取付ボルト

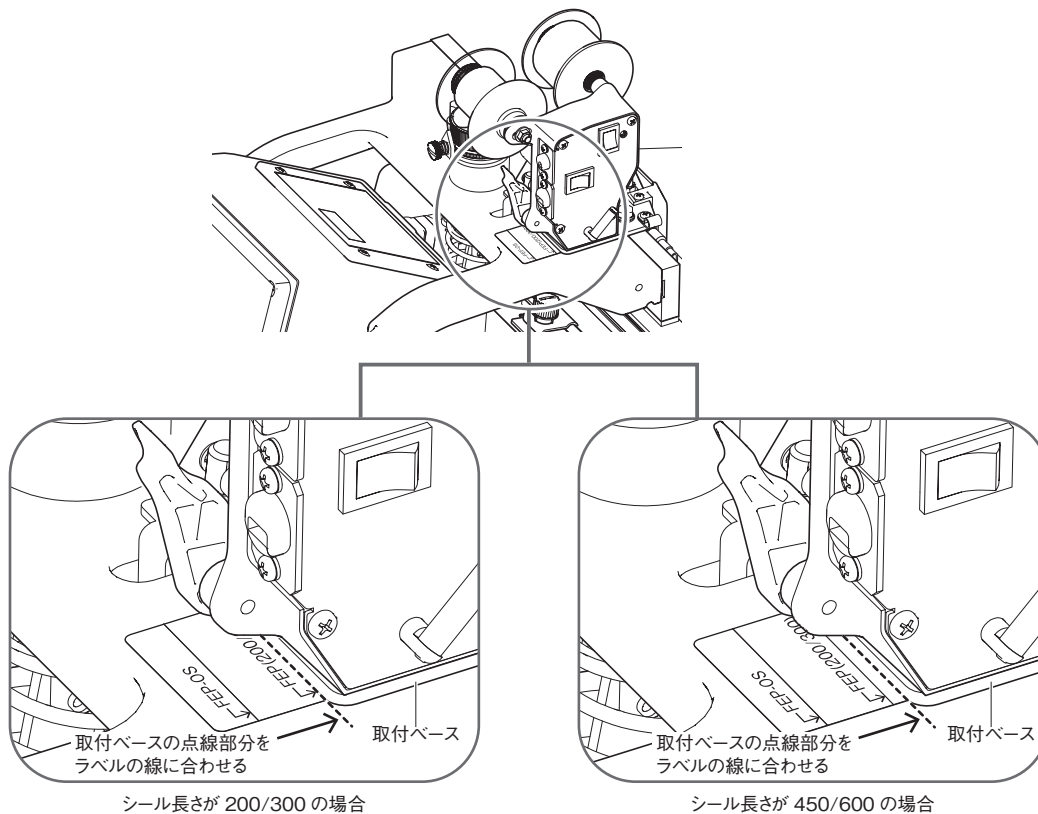
取付ベース

ヒーター部ユニット

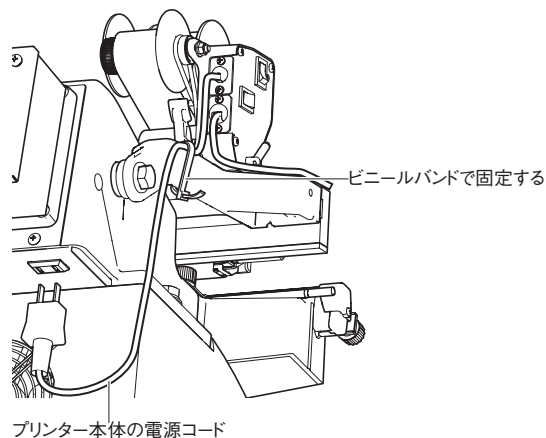
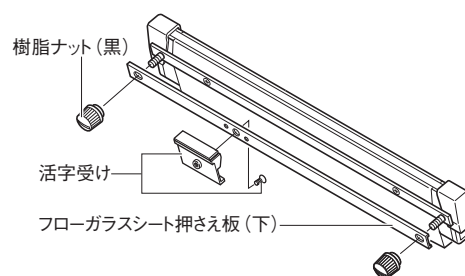
圧着レバー



- 5 お使いのシール機の機種を機番ラベルで確認し、プリンター位置決めラベルの該当する線に取付ベースの端面を合わせます。(下図参照)



- 6 プリンター位置決めラベルの位置決め線からずれないように注意して、FEP 本体取付ボルトで取付ベースを固定します。
- 7 シーラー本体のフローガラスシート押さえ板(下)を固定している樹脂ナット(黒)をゆるめて取り外します。
- 8 取り外したフローガラスシート押さえ板(下)にプリンター附属品の活字受けをビスで固定します。
- 9 活字受けを取り付けたフローガラスシート押さえ板(下)をシーラー本体に取り付けます。
- 10 プリンター本体の電源プラグをシーラー頭部裏蓋にあるプリンター専用のコンセントに差し込みます。
- 11 圧着レバーの動きの邪魔にならないように、プリンター本体の電源コードを附属のビニールバンドで圧着レバーに固定します。





### 7-3 FEP-OS-N3 の取付手順

【必要物】 プラスドライバー  
両口スパナ (8 mm × 10 mm)

1 シーラーの圧着レバー上面に貼り付けている「プリンター取り付け位置を示す銀色のシール」をはがします。FEP 本体取付ボルト用の穴が見えるようになります。

2 圧着レバーを上げます。

**MEMO** 圧着レバーを上げる方法は、プリンターを取り付けられるシーラーの取扱説明書 >>> 「消耗部品の交換方法 >>> 部品交換のための準備」に記載しています。

3 活字受けと活字受け台をシールフレームに取り付けます。(活字受け固定用ビス 2 本で固定)

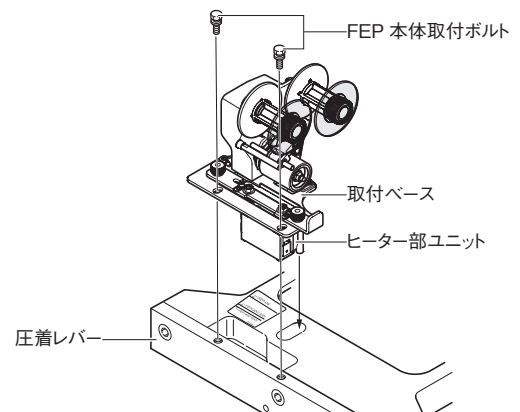
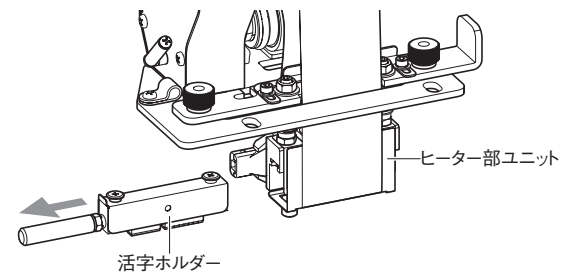
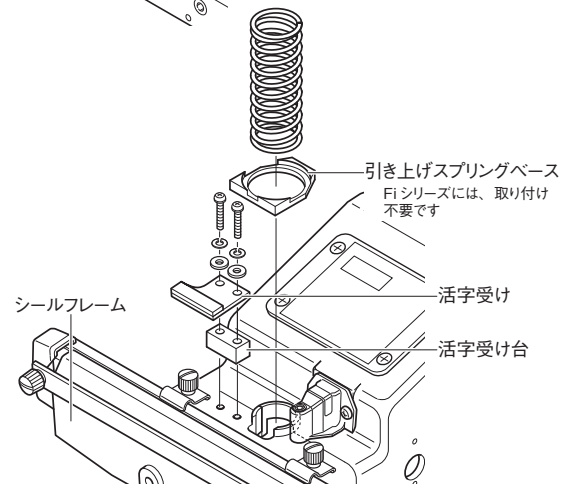
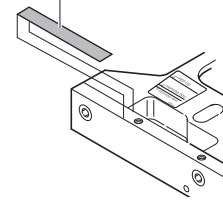
4 シールフレーム中央に引き上げスプリングベースをはめ込みます。

**注!** スプリングベースは Fi シリーズには、取り付け不要です。

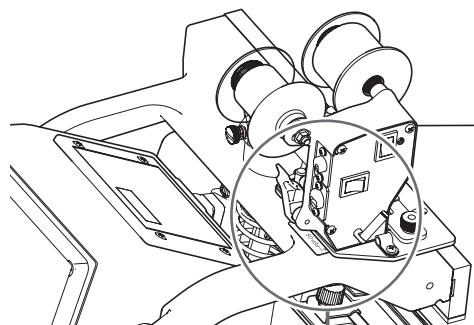
5 ヒーター部ユニットから活字ホルダーを引き出します。

6 プリンターの取付ベースを圧着レバーに載せます。このとき、ヒーター部ユニットを圧着レバーのプリンター取り付け用のスペース(穴)に通します。

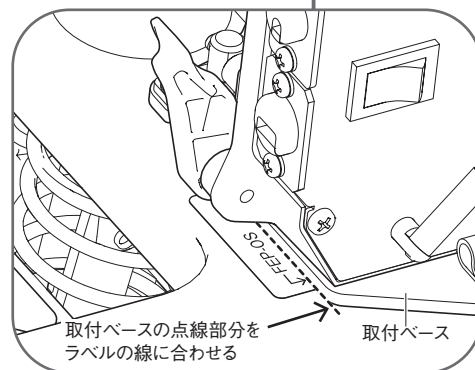
プリンター取り付け位置を示す  
銀色のシール



- 7 プリンター位置決めラベルの FEP-OS の線に  
取付ベースの端面を合わせます。

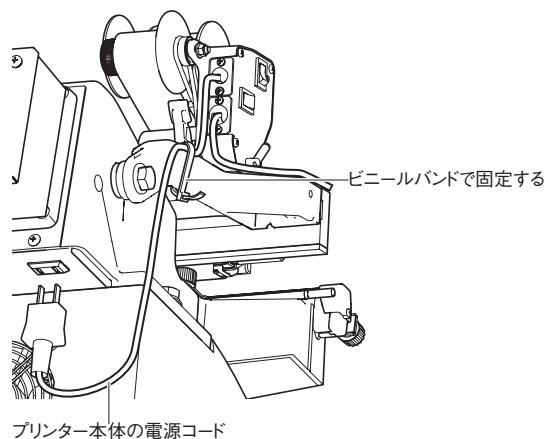


- 8 プリンター位置決めラベルの位置決め線からず  
れないように注意して、FEP 本体取付ボルトで  
取付ベースを固定します。



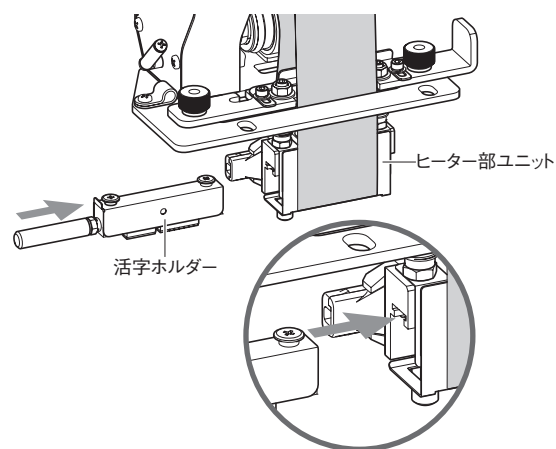
- 9 プリンター本体の電源プラグをシーラー頭部裏  
蓋にあるプリンター専用のコンセントに差し込み  
ます。

- 10 圧着レバーの動きの邪魔にならないように、プ  
リンター本体の電源コードを附属品のビニールバン  
ドで圧着レバーに固定します。



- 11 5 で取り外した活字ホルダーをヒーター部ユニ  
ットに差し込みます。

**注！** 活字ホルダーの2つの突起部がヒ  
ーター部ユニットの溝に確実に入るよう  
にまっすぐ差し込んでください。



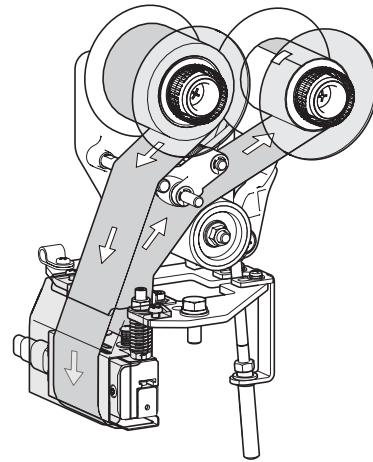
## 8 正しい使い方

製品を使用されるときは以下の『正しい使い方』をよくお読みいただき、お使いください。  
以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、たいへん危険です。

### 8-1 プリントテープを取り付ける

「9-1 FEP-N3 のプリントテープ交換」(→ P.22)、  
「9-2 FEP-OS-N3 のプリントテープ交換」  
(→ P.26)を参照して、プリントテープをプリンターに  
セットします。

**MEMO** 工場出荷時にはあらかじめプリントテープがセッ  
トされています。

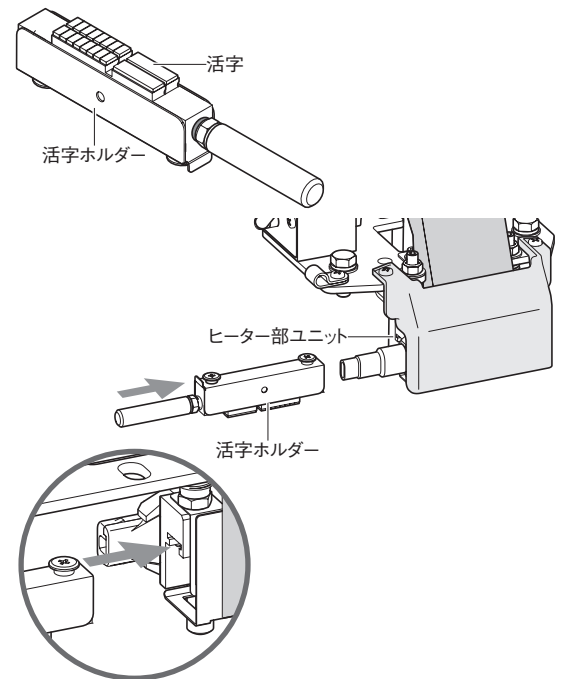


### 8-2 活字をセットする

「9-3 活字の交換」(→ P.30)を参照して、活字  
ホルダーに活字を入れて、ヒーター部ユニットにセットし  
ます。

**MEMO** 工場出荷時にはあらかじめ活字が 1 列セッ  
トされています。

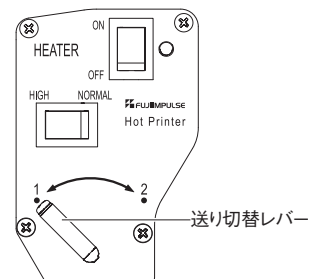
**注!** 活字ホルダーの 2 つの突起部がヒーター部ユ  
ニットの溝に確実に入るようにまっすぐ差し込ん  
でください。



### 8-3 プリントテープの送り量を設定する

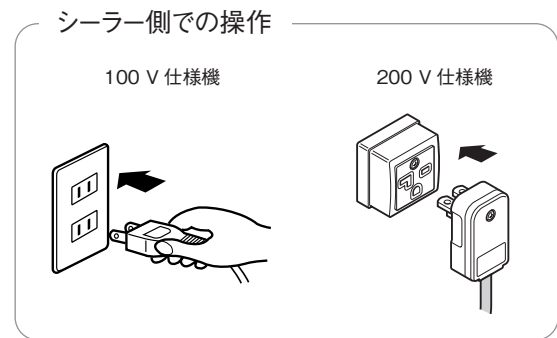
「10-2 印字列数の切替」(→ P.35)を参照して、  
活字の列数に合わせて送り切替レバーを設定します。

**MEMO** 工場出荷時には1列送りに設定されています。



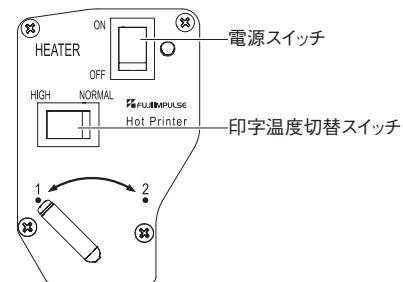
### 8-4 シーラー本体の電源スイッチを ON

シーラー本体の電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを ON にしてください。シーラーの取り扱いについては、シーラーの取扱説明書を参照してください。



### 8-5 プリンターの電源スイッチを ON

プリンターの電源スイッチを ON にしてください。同時にプリンターの電源ランプが点灯し、ヒーターが温まり始めます。



### 8-6 印字温度を切り替える

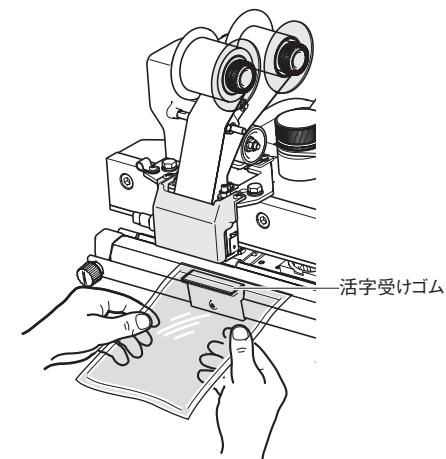
通常は NORMAL で使用し、HIGH にすると印字温度が高くなります。印字する袋 (フィルム) や使用環境に応じて、印字温度を切り替えてください。

### 8-7 適温になるまで待つ

ヒーターが印字可能な状態に温まるまで 10 ~ 15 分お待ちください。

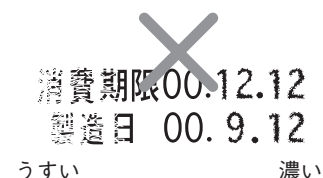
### 8-8 シーラー本体でシール作業を行う

ヒーター部が印字可能な状態に温まればシーラー本体のシール部に袋 (フィルム) をセットし、シール作業を行うとシールと同時に活字受けゴムのある位置へ印字が行われます。右イラストは内側プリンター FEP-N3 です。



### 8-9 印字状態の確認

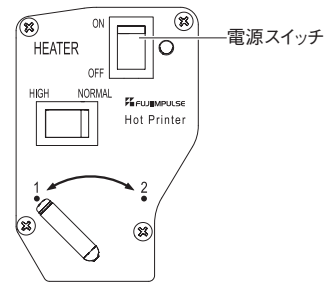
印字がきれいにできていない場合は、「10-1 ヒーター部ユニット (活字) の高さ調整」 (→ P.34) を参照して、きれいな印字ができるよう調整を行ってください。



## 8-10 電源スイッチを OFF

作業が完了したらプリンターの電源スイッチを OFF にし、シーラーの電源スイッチを OFF にしてください。

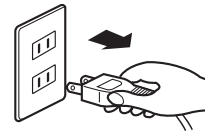
**注意** 電源スイッチを OFF にしてもしばらくはヒーター部は高温のため火傷をする危険性があります。不用意に触れないように注意してください。



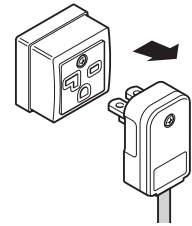
長時間使用しない場合は、シーラー本体の電源プラグを手で持ってコンセントから抜いてください。

### シーラー側での操作

100 V 仕様機



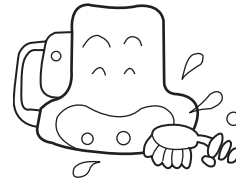
200 V 仕様機



## 8-11 作業終了後の点検

作業終了後は、清掃を行い、活字などの部品が傷んでいないか点検を行い、必要に応じて交換をしてください。




**注意** 電源スイッチを OFF にしてもしばらくはヒーター部は高温のため火傷をする危険性があります。清掃の際はプリンターのヒーター部が十分に冷えてから作業を行ってください。

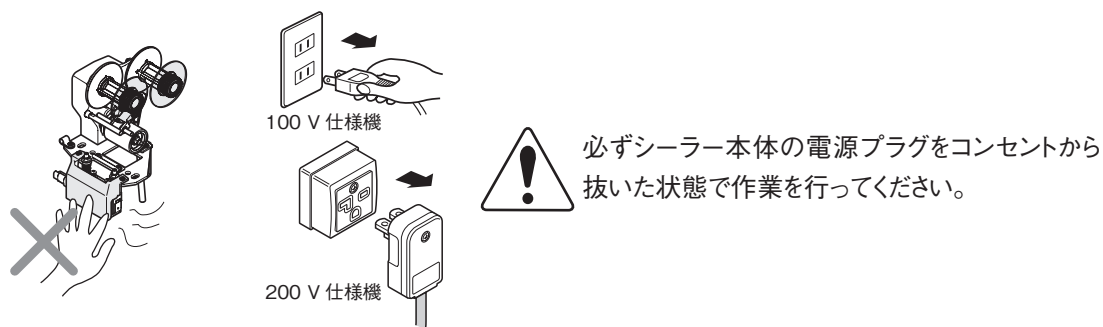


## 9 消耗部品の交換方法


日々の作業を安定して能率的に行うために、作業前・作業後のメンテナンス・早い時期の消耗部品の交換をお勧めいたします。

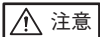
以下の「消耗部品の交換方法」をよくお読みいただき、正しく作業を行ってください。

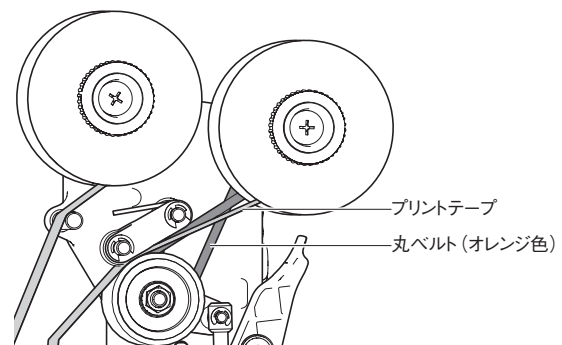
-  **警告** 消耗部品の交換やメンテナンスを行うときは、必ずプリンター、シーラーの電源を OFF にして、シーラー本体の電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、プリンターのヒーター部が十分に冷えてから作業を行ってください。電源プラグを差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。また、プリンターのヒーター部が十分に冷えていないと火傷の危険性があります。
-  **警告** 取扱説明書に記載されている以外の間違った方法で交換すると製品が正常に働かないばかりか、感電や火傷をする危険性があります。
-  **警告** 消耗部品は必ず弊社指定の部品をご使用ください。指定外の部品を使用されると製品の性能が正しく発揮できないだけでなく、故障の原因にもなります。



### 9-1 FEP-N3 のプリントテープ交換

-  **警告** プリントテープを交換するときは、プリンター、シーラーの電源を OFF にして、シーラー本体の電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、ヒーター部が十分に冷えてから交換作業を行ってください。熱いときに交換作業を行うと火傷をする危険性があります。

-  **注意** はさみを使用するときの注意：  
違う種類のプリントテープに交換する場合など、プリントテープを切る際に、はさみを使用するときは右イラストの丸ベルトを切らないように注意してください。

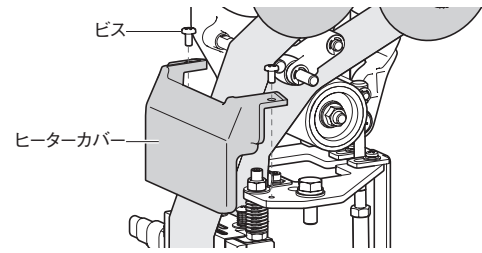


- 【必要物】** セロハンテープ  
六角レンチ (2.5 mm)  
プラスドライバー

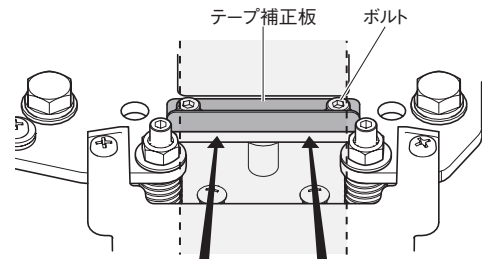
FEP-OS-N3 (外側プリンター) の場合は、「9-2 FEP-OS-N3 のプリントテープ交換」(→ P.26) を参照してください。

## ■ 使用済みプリントテープの取り外し

- 1 ヒーターカバーを固定しているビスを取り外し、ヒーターカバーを取り外します。

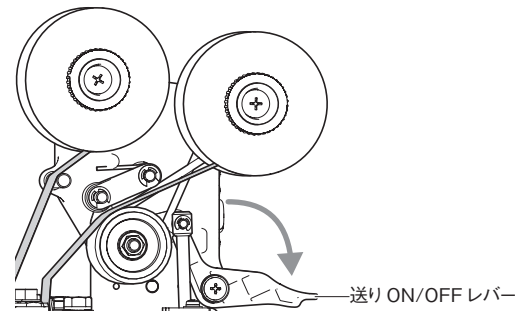


- 2 テープ補正板を一番奥に押し込んだ状態にします。テープ補正板を固定しているボルトをゆるめ、テープ補正板を一番奥に押し込んだ状態にした後、再度、ボルトを締めて固定します。

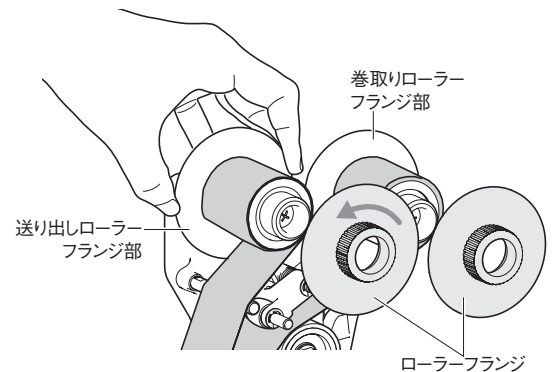


- 3 送り ON/OFF レバーを倒します。押さえローラーが持ち上がり、ドライブローラーにプリントテープを通す隙間ができます。

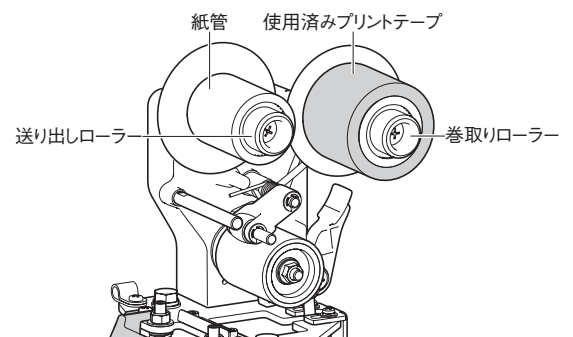
**注！** 送り ON/OFF レバーは確実に倒してください。



- 4 ローラーフランジを取り外します。送り出しローラー、巻取りローラーが回らないようにフランジ部を手で押さえながら、ローラーフランジを反時計回りに回すと外れます。



- 5 送り出しローラーの紙管に残っているプリントテープをはがし、紙管を抜き取ります。抜き取った紙管は新しいプリントテープの巻取り紙管として使用します。



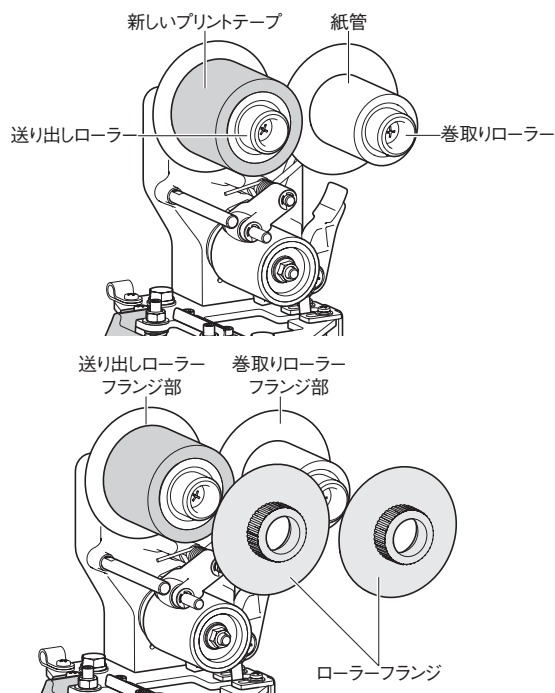
- 6 巻取りローラーから使用済みプリントテープを紙管ごと抜き取ります。



■ プリントテープの取り付け

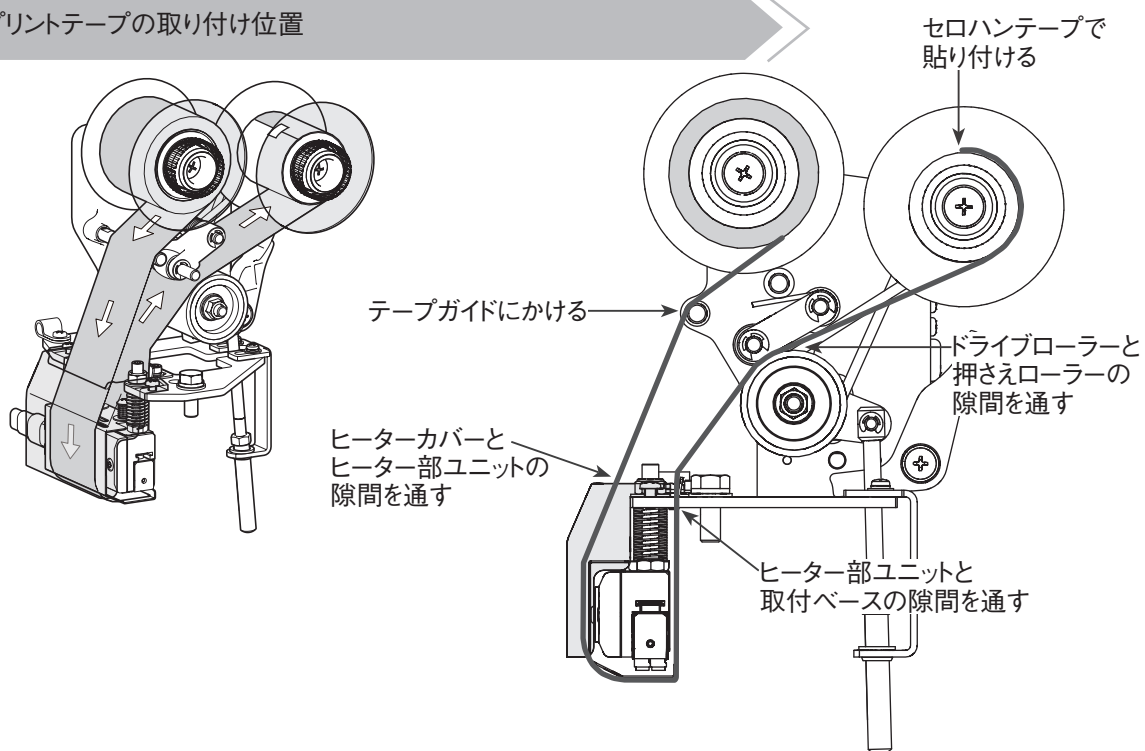
- 7 5で抜き取った紙管を巻取りローラーに取り付けます。
- 8 新しいプリントテープを送り出しローラーに取り付けます。
- 9 4で取り外したローラーフランジを取り付けます。送り出しローラー、巻取りローラーが回らないようにフランジ部を手で押さえながら、ローラーフランジを取り付けてください。

**注！** ローラーフランジが使用中にゆるむことのないようにしっかりと締めてください。



- 10 下イラストを参考にプリントテープをセットし、プリントテープの先端を巻取り紙管にセロハンテープなどで貼り付けます。  
このときプリントテープの光沢のある面が活字に当たるようにセットしてください。

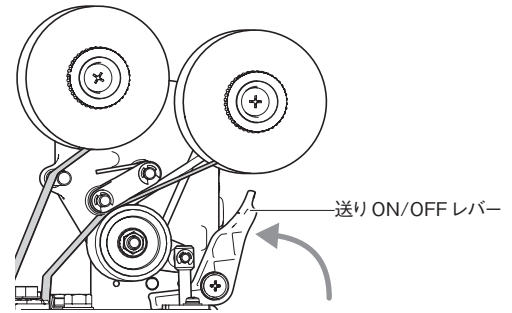
プリントテープの取り付け位置



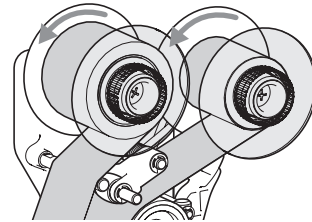


- 11 送り ON/OFF レバーを持ち上げます。  
プリントテープが押さえローラーとドライブローラーに挟まれ固定されます。

**注!** 送り ON/OFF レバーは確実に持ち上げてください。

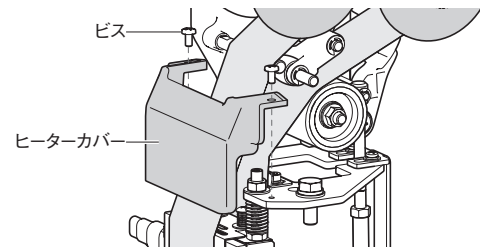


- 12 送り出しローラー、巻取りローラーのフランジ部を手で回して、プリントテープのたるみを取ります。



- 13 1 で取り外したヒーターカバーを元通り取り付けます。

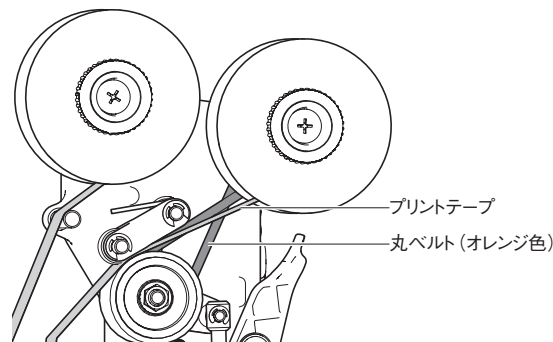
**警告** ヒーターカバーは必ず取り付けて使用してください。印字作業中はヒーター部が高温になり、直接触れると火傷をする危険性があります。



## 9-2 FEP-OS-N3 のプリントテープ交換

**警告** プリントテープを交換するときは、プリンター、シーラーの電源を OFF にして、シーラー本体の電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、ヒーター部分が十分に冷えてから交換作業を行ってください。熱いときに交換作業を行うと火傷をする危険性があります。

**注意** はさみを使用するときの注意：  
違う種類のプリントテープに交換する場合など、プリントテープを切る際に、はさみを使用するときは右イラストの丸ベルトを切らないように注意してください。

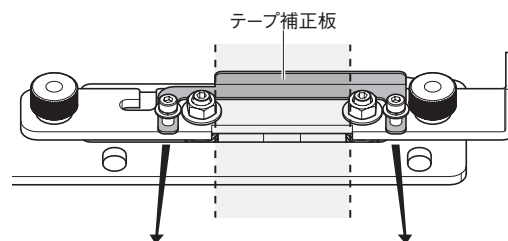


**【必要物】** セロハンテープ  
六角レンチ (2.5 mm)

FEP-N3 (内側プリンター) の場合は「9-1 FEP-N3 のプリントテープ交換」(→ P.22)を参照してください。

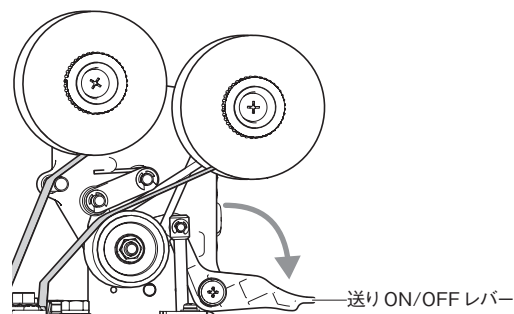
### ■ 使用済みプリントテープの取り外し

1 テープ補正板を一番手前にした状態にします。テープ補正板を固定しているボルトをゆるめ、テープ補正板を一番手前の状態にした後、再度、ボルトを締めて固定します。

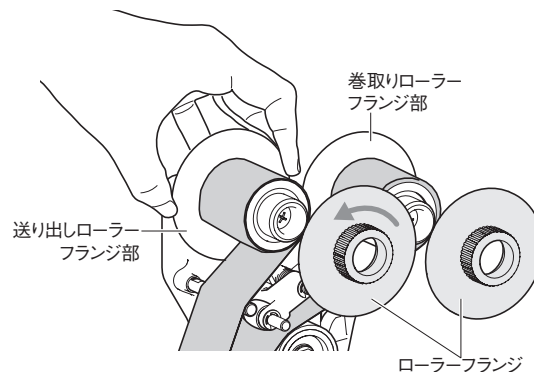


2 送り ON/OFF レバーを倒します。押さえローラーが持ち上がり、ドライブローラーにプリントテープを通す隙間ができます。

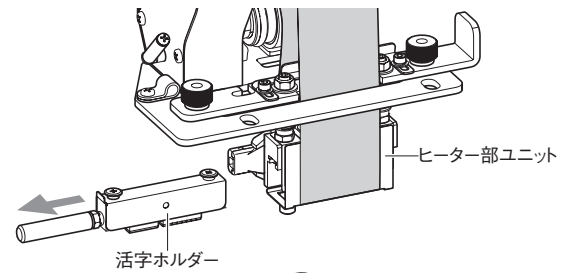
**注!** 送り ON/OFF レバーは確実に倒してください。



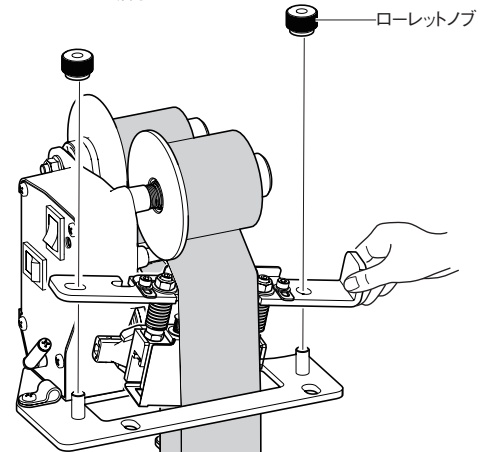
3 ローラーフランジを取り外します。送り出しローラー、巻取りローラーが回らないようにフランジ部を手で押さえながら、ローラーフランジを反時計回りに回すと外れます。



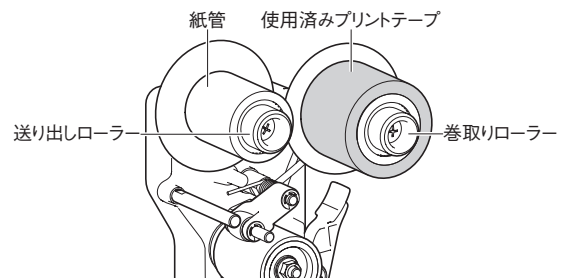
- 4 ヒーター部ユニットから活字ホルダーを引き出します。



- 5 ローレットノブを取り外し、ヒーター部ユニットを取り外します。



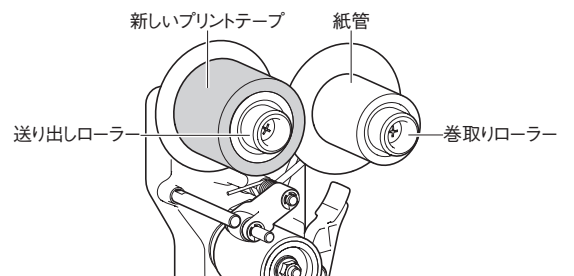
- 6 送り出しローラーの紙管に残っているプリントテープをはがし、紙管を抜き取ります。抜き取った紙管は新しいプリントテープの巻取り紙管として使用します。



- 7 巻取りローラーから使用済みプリントテープを紙管ごと抜き取ります。

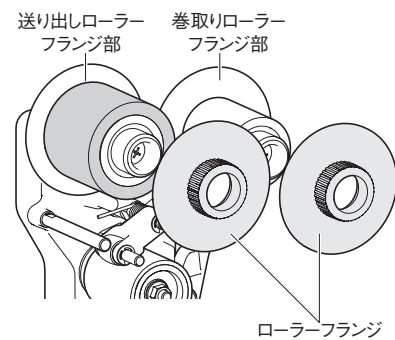
#### ■ プリントテープの取り付け

- 8 6で抜き取った紙管を巻取りローラーに取り付けます。



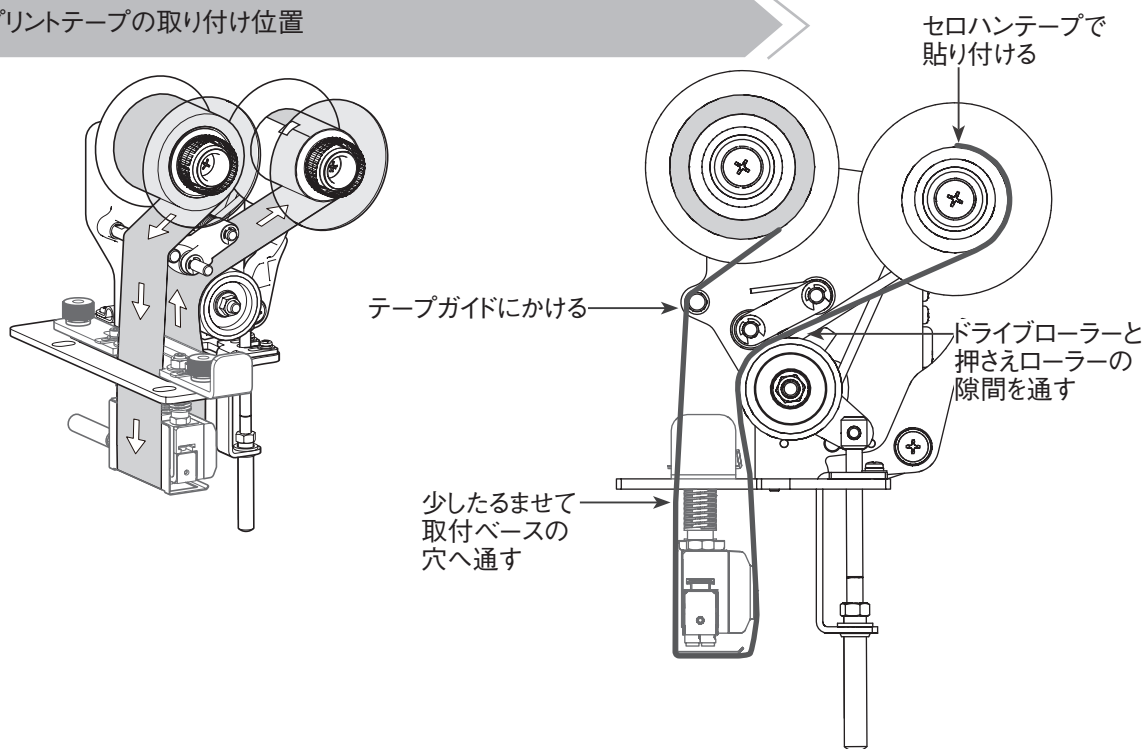
- 9 新しいプリントテープを送り出しローラーに取り付けます。

- 10 3で取り外したローラーフランジを取り付けます。送り出しローラー、巻取りローラーが回らないようにフランジ部を手で押さえながら、ローラーフランジを取り付けてください。

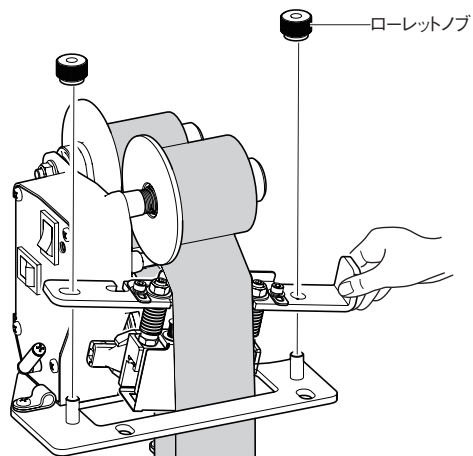


- 11 下イラストを参考にプリントテープをセットし、プリントテープの先端を巻取り紙管にセロハンテープなどで貼り付けます。プリントテープは少したるませてセットしてください。  
このときプリントテープの光沢のある面が活字に当たるようにセットしてください。

プリントテープの取り付け位置

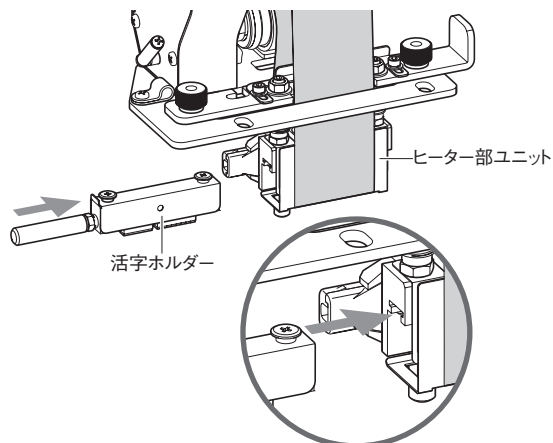


- 12 たるませたプリントテープの間にヒーター部ユニットを通してローレットノブで取り付けます。



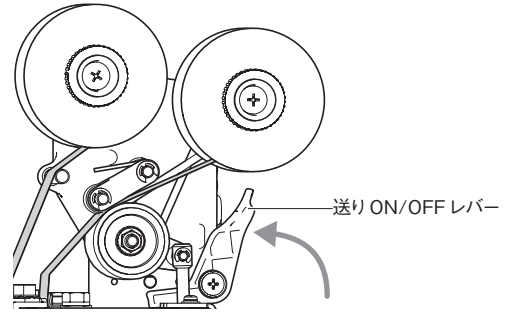
- 13 活字ホルダーをヒーター部ユニットに差し込みます。

**注！** 活字ホルダーの2つの突起部がヒーター部ユニットの溝に確実に入るようにまっすぐ差し込んでください。

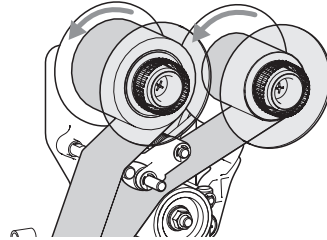


- 14 送り ON/OFF レバーを持ち上げます。  
プリントテープが押さえローラーとドライブローラーに挟まれ固定されます。

**注！** 送り ON/OFF レバーは確実に持ち上げてください。



- 15 送り出しローラー、巻取りローラーのフランジ部を手で回して、プリントテープのたるみを取ります。



### 9-3 活字の交換

**警告** 活字を交換するときは、プリンター、シーラーの電源を OFF にして、シーラー本体の電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、活字および活字ホルダーが十分に冷えてから交換作業を行ってください。熱いときに交換作業を行うと火傷をする危険性があります。

活字は単品販売、セット販売しています。

- 1 ヒーター部ユニットから活字ホルダーを引き出します。

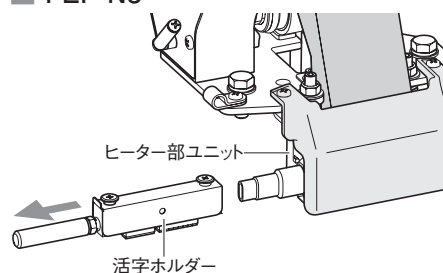
- 2 活字ホルダーのつまみを反時計回りに回してゆるめていき、活字ホルダーから活字固定ピンを取り外します。

- 3 活字を交換します。

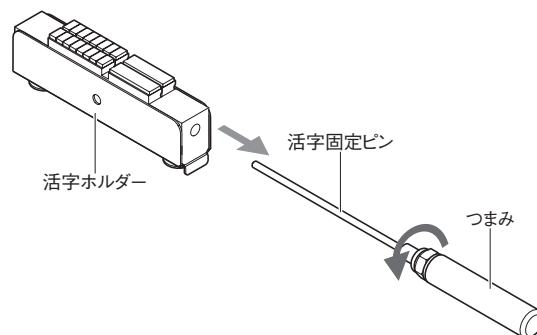
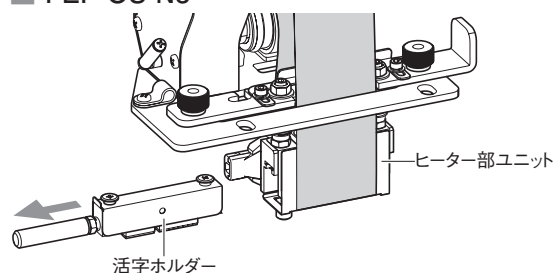
**注意** 少ない活字をセットする場合は出来るだけ中央寄りに取り付けてください。印字しない部分には、必ずスペーサーを入れてください。活字が左右どちらかに片寄ると印字不良の原因になります。

**注意** 1 列印字をする場合、活字は印字したときに上の段にくるように配置してください。下の段に配置すると印字不良の原因になります。また、使用しない方の列には必ず附属の 36 mm 幅スペーサーをセットしてください。

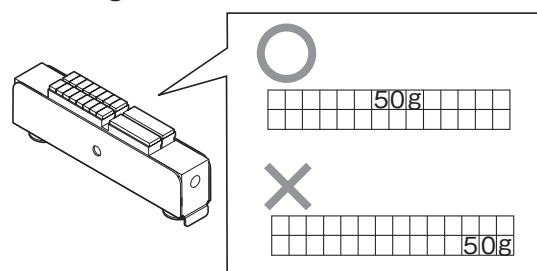
#### ■ FEP-N3



#### ■ FEP-OS-N3



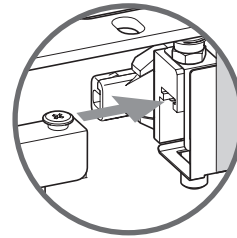
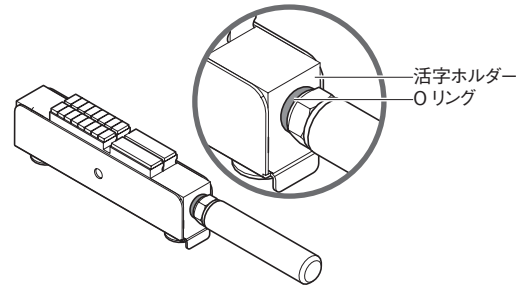
例) 「50g」の活字をセットする場合



- 4 活字固定ピンを活字ホルダーに差し込み、つまみを時計回りに締めて固定します。  
このとき、Oリングが活字ホルダーに当たってから半回転ほど締め込んでください。
- 5 活字ホルダーをヒーター部ユニットに差し込みます。

**注！** 活字ホルダーの2つの突起部がヒーター部ユニットの溝に確実に入るようにまっすぐ差し込んでください。

**注！** 活字の列数を変更した場合は、「10-2 印字列数の切替」(→ P.35)を参照して、送り切替レバーを切り替えてください。



#### 9-4 FEP-N3 の活字受けゴムの交換

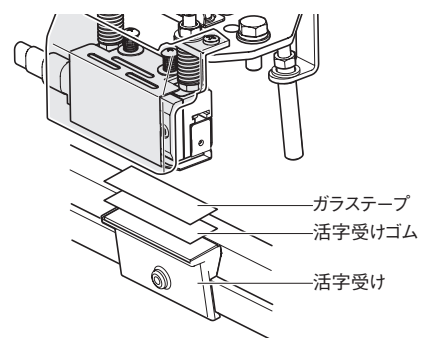
**警告** 活字受けゴムを交換するときは、プリンター、シーラーの電源をOFFにして、シーラー本体の電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、活字および活字ホルダーが十分に冷えてから交換作業を行ってください。熱いときに交換作業を行うと火傷をする危険性があります。

**【必要物】** アルコール(エタノール)

- 1 活字受けゴムに貼ってあるガラステープをはがし、活字受けゴムを活字受けから取り外します
- 2 活字受けに粘着のりが残っている場合はアルコール(エタノール)できれいに取り除きます。

**注！** 粘着のりが残っていると活字受けゴムの表面が凸凹して印字不良の原因となりますので、確実に取り除いてください。

- 3 新しい活字受けゴムの両面テープの剥離紙をはがし、活字受けに貼り付けます。
- 4 活字受けゴムの上に新しいガラステープを貼り付けます。



## 9-5 FEP-OS-N3 の活字受けゴムの交換

**警告** 活字受けゴムを交換するときは、プリンター、シーラーの電源を OFF にして、シーラー本体の電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、活字および活字ホルダーが十分に冷えてから交換作業を行ってください。熱いときに交換作業を行うと火傷をする危険性があります。

**【必要物】** アルコール (エタノール)

1 圧着レバーを上げます。

**MEMO** 圧着レバーを上げる方法は、プリンターを取り付けられるシーラーの取扱説明書 >>> 「消耗部品の交換方法 >>> 部品交換のための準備」に記載しています。

2 活字受けゴムに貼ってあるガラステープをはがし、活字受けゴムの活字受けから取り外します。

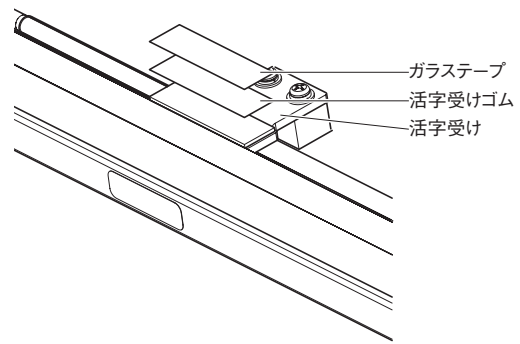
3 活字受けに粘着のりが残っている場合はアルコール (エタノール) できれいに取り除きます。

**注!** 粘着のりが残っていると活字受けゴムの表面が凸凹して印字不良の原因となりますので、確実に取り除いてください。

4 新しい活字受けゴムの両面テープの剝離紙をはがし、活字受けに貼り付けます。

5 活字受けゴムの上に新しいガラステープを貼り付けます。

6 圧着レバーを元に戻します。





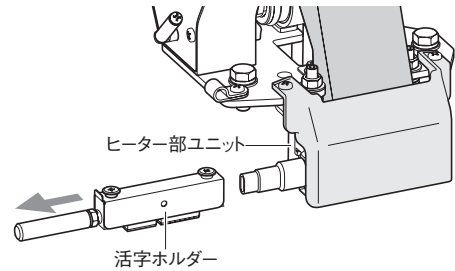
## 9-6 ホルダー内活字受けゴムの交換

**警告** ホルダー内活字受けゴムを交換するときは、プリンター、シーラーの電源を OFF にして、シーラー本体の電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、活字および活字ホルダーが十分に冷えてから交換作業を行ってください。熱いときに交換作業を行うと火傷をする危険性があります。

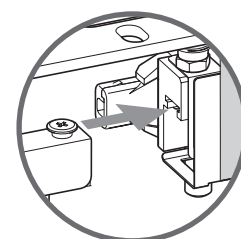
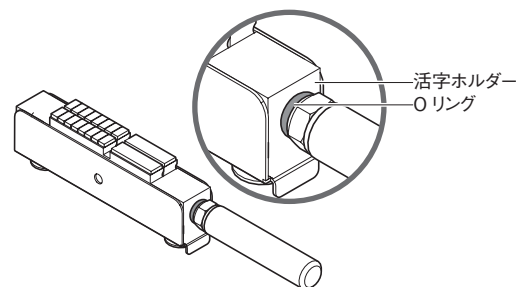
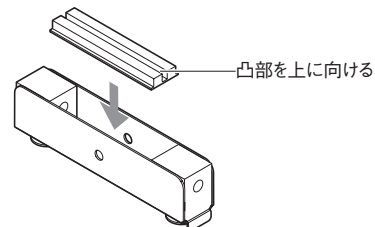
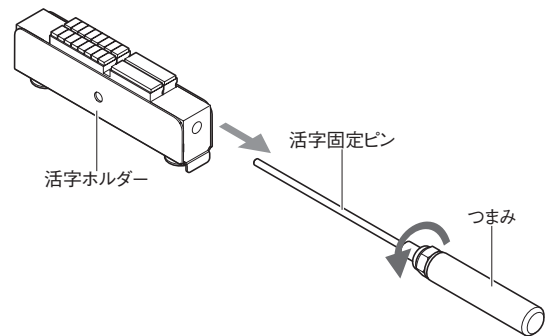
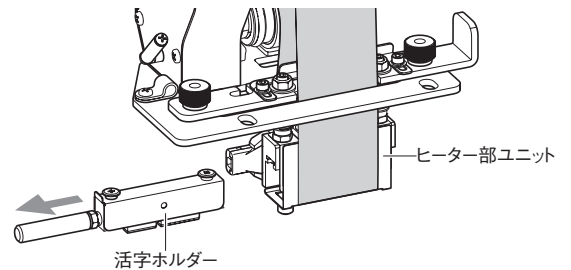
- 1 ヒーター部ユニットから活字ホルダーを引き出します。
- 2 活字ホルダーのつまみを反時計回りに回してゆるめていき、活字ホルダーから活字固定ピンを取り外します。
- 3 活字ホルダーから活字を取り、活字ホルダーの中にあるホルダー内活字受けゴムを交換します。ホルダー内活字受けゴムは、凸部を上に向けて取り付けてください。
- 4 活字、活字固定ピンを元通り取り付けます。活字固定ピンのつまみは、Oリングが活字ホルダーに当たってから半回転ほど締め込んでください。
- 5 活字ホルダーをヒーター部ユニットに差し込みます。

**注!** 活字ホルダーの2つの突起部がヒーター部ユニットの溝に確実に入るようにまっすぐ差し込んでください。

### ■ FEP-N3



### ■ FEP-OS-N3



## 10 各部の調整方法

以下で説明する部品の調整は日々のメンテナンスで必要となりますので、「各部の調整方法」をよくお読みいただき、調整作業を行ってください。

**警告** 各部の調整は取扱説明書に記載している調整方法にて正しく行ってください。間違った方法で調整すると製品の故障や不調につながる恐れがあり、火傷などをする危険性があります。

**警告** 調整を行うときは、必ずプリンター、シーラーの電源を OFF にして、シーラー本体の電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、プリンターのヒーター部が十分に冷えてから作業を行ってください。電源プラグを差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。また、プリンターのヒーター部が十分に冷えていないと火傷の危険性があります。

ただし、ヒーター部ユニットの高さ調整は、電源が ON の状態でないと印字状態が確認できませんので充分注意して作業を行ってください。

### 10-1 ヒーター部ユニット(活字)の高さ調整

**注意** 活字高さ調整ナットが外れるとヒーター部ユニットが脱落する恐れがありますので、ゆるめすぎないように注意して作業を行ってください。

**必要物** 両口スパナ (8 mm × 10 mm)

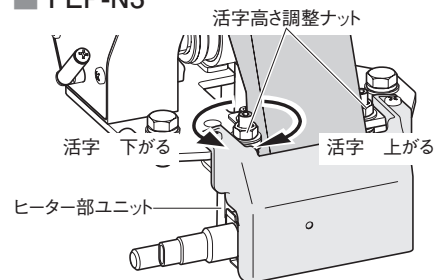
シールする袋(フィルム)の材質に応じて、ヒーター部ユニットの高さを調整して活字の押しつける力を変えると美しい印字ができます。

- 1 左右の活字高さ調整ナットを時計回りに回して締めいき、印字ができない位置まで、ヒーター部ユニット(活字)を引き上げます。
- 2 左右の活字高さ調整ナットを反時計回りに回してゆるめていき、ヒーター部ユニット(活字)を徐々に下げて、やや薄めに印字できる位置まで下げ、右から左まで印字が同じ状態になるように調整します。
- 3 その位置からさらに半回転回した状態がヒーター部ユニット(活字)の最適な位置(高さ)です。

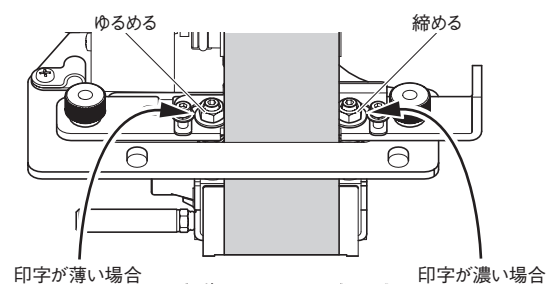
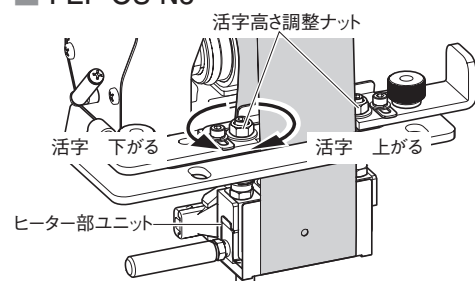
ヒーター部ユニットの高さが左右で異なると、左右のどちらか一方だけかすれたり、濃すぎたりする場合があります。

- 1 印字が薄くかすれる  
活字高さ調整ナットを反時計回りに回してゆるめ、活字を下げてください。
- 2 印字が濃い、印字の後がへこんでいる  
活字高さ調整ナットを時計回りに回して締め、活字を上げてください。
- 3 印字が濃く、文字の細かい部分がつぶれて埋まっている  
活字高さ調整ナットを時計回りに回して締め、活字を上げてください。

#### ■ FEP-N3



#### ■ FEP-OS-N3

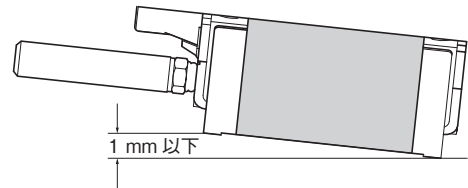


消費期限 00.12.12  
製造日 00.9.12

**注！** 活字高さ調整ナットは一度に大きく回さず、少しずつ回して写り具合を確認してください。

**注！** ヒーター部ユニット左右の高低差が 1 mm を超えるような調整は避けてください。プリントテープの片寄りの原因となる可能性があります。

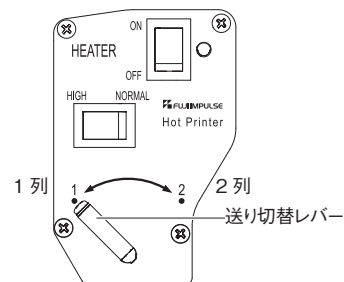
**注！** FEP-OS-N3 のみ：  
ヒーター部ユニットを引き上げすぎると、活字ホルダーがシールレバーに干渉して抜けなくなる場合があります。その場合、活字高さ調整ナットをゆるめ、活字ホルダーが引き出せるまでヒーター部ユニットを下げてください。



## 10-2 印字列数の切替

送り切替レバーで、1 列印字と 2 列印字に応じたプリントテープの送り量を切り替え、プリントテープの消費量を抑えることができます。

工場出荷時は 1 列分の送り量に設定しています。  
2 列の設定にするとテープの送り量が 2 列印字分になります。



## 10-3 プリントテープの送り量調整

**警告** 調整を行うときは、プリンター、シーラーの電源を OFF にして、シーラー本体の電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、プリンターのヒーター部が十分に冷えてから作業を行ってください。熱いときに作業を行うと火傷をする危険性があります。また、電源を入れたまま作業を行うと、不意に機械が作動してケガをする危険性があります。

**【必要物】** 両口スパナ (8 mm × 10 mm)

工場出荷時にはプリントテープの 1 回の送り量は下記の数値で調整されています。

1 列印字の場合・・・約 5 mm

2 列印字の場合・・・約 10 mm

送り量の微調整はテープ送り調整軸を回して行うことができます。

付属のスパナでナットを少しゆるめ、右イラストのようにテープ送り調整軸を回して調整してください。

調整完了後はゆるめたナットを確実に締め込み固定してください。

**注意** 工場出荷時、適量な送り調整となっておりますので、必要のない限りこの調整は行わないでください。

**注意** ナットの締め込みがゆるいと動作時、テープ送り調整軸が外れる恐れがあります。

